

**商学部における特色ある学部教育の補助**  
**「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」 報告書**

テーマ : 語り人が伝える富岡町3・11 地域課題への挑戦ー東北に学び多摩で発信する

科目名 : ベーシック演習Ⅰ

担当教員 : 中村亨

実施日 : 2025年6月13日(金) 時限 : 1 時限目 実施教室 : 5501 教室

**実施趣旨 (目的)**

東日本大震災による原発事故に遭遇した福島県富岡町の住民の方々が、震災時にどのような経験をし、その後どのような生活を送ってきたのかをNPO法人「富岡3・11を語る会」の語り人から伝え聞き、質疑応答によって理解を深める。

**実施結果**

「富岡3・11を語る会」の語り人の一人であり、震災当時は子供だった宗像涼氏から震災時の町の様子と原発事故が起こった後の町民避難の状況について、そして町民が帰還できるようになって以降の町の状況についてお話をうかがった。町民たちが最初に避難先の川内村に向かったとき道路が車が大量渋滞し、普段なら数十分で行ける隣町なのに何時間もかかってようやく避難所に到達したこと、川内村からさらに郡山に全員が避難させられたこと、郡山の避難施設での不自由な生活についてなど、マスメディアを通じた情報や活字からだけでは得られない、当事者の口から直接語られる具体的な話を受講生は心を動かされていたようだった。また講話の後は活発な質疑応答が交わされ、暮らしの中で原発が身近にあった町民の方々が、原発に対して現在感じている複雑な思いの一端もうかがえた。